

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1494200023	事業の開始年月日	平成22年12月16日
		指定年月日	平成22年12月16日
法人名	株式会社 メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘		
所在地	( 243-0410 ) 神奈川県海老名市杉久保北2-18-25		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成24年2月18日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月13日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1494200023&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1494200023&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム周りの広い外周と菜園は自慢の環境です。菜園では入居者様と職員と一緒に種から植えた野菜が実り、収穫しています。季節に合った野菜を収穫できる事で四季を感じて頂いています。夏に実った「ひょうたん」を利用して小物を作り、完成した品は入居者様が大切にされています。散歩コースでは富士山を見ることもでき、散歩の楽しみが増えています。近隣にはスーパーやコンビニがあり、買い物も生まれ、地域との触れあいや自立支援に結びついています。日々のケアでは入居者様本意の介護を大切にしており、可能な限り物事を選択して頂ける様に声をかけています。日常では「喜怒哀楽」を出して頂けるように入居者様と職員との関係作りも大切にしています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年3月21日	評価機関 評価決定日	平成24年4月10日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは海老名駅より相鉄バス農大前行きより「城山」または「杉久保小学校前」下車徒歩約4分の、大通りに面した門扉から奥まったところにあります。周囲の新興住宅地に馴染んだ2階・2ユニットのしゃれた建物です。裏には大きな農園、近くにはコンビニやドラッグストア、森に囲まれた神社の境内などがあり、買い物や散歩にも便利な環境です。居室や食堂・リビングは全て南向きで、終日明るい設計となっています。

<優れている点>  
庭の一角には菜園があり、入居者自らの季節の野菜作りの楽しみや収穫の喜び、食べる楽しみとなっています。1階・2階にはウッドデッキやベランダがあり居ながら自由に外気を楽しんだり、お茶や食事、日光浴などでくつろぐことができます。事故報告書が整備されていて、発生原因・対策など職員は共有し再発予防に取り組んでいます。管理者以下職員相互の信頼関係が厚く、チームワークで入居者一人ひとりの声なき声に傾聴し理念の実現に努めています。

<工夫点>  
ホームは門扉から奥まったところがあり、建物の周りつつじなどの植え込みと芝生の遊歩道・散歩道にもなっています。入居者一人ひとりの「散歩表」が作成しており、特定の人に外出の機会が偏ることなく皆平等に外出を楽しむことができます。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘
ユニット名	1階

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念は玄関に掲示しており「大きな幸せ」の実現に向け取り組んでいます。事業所としては開所時より「地域と共に」「利用者本意の介護」を目指し、日々の実践に取り入れるよう努めています。	法人やホームの理念は玄関などに掲げ職員は共有しています。ホームの理念は開設時、職員が独自に作り上げたものです。入居者の意思、希望を導き出し、最大限に尊重した理念をモットーに支援に努めています。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しています。回覧板を頂く事で、地域行事や催し物の情報がわかります。地域のお祭りや、敬老会への参加をしています。	ホームのオーナーは民生委員でもあり、地域との連携の核となって祭りに参加したり、老人会のホーム見学の機会を作ったり、小学校の校庭で行う地域の踊りに参加するなど地域との交流に努めています。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で認知症の日頃の症状を説明させて頂くと共に見学に来られた地域の民生委員の方々も直接入居者様と談話をして頂きながら理解を頂いています。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会の役員、民生委員、市役所高齢介護課、地域包括支援センター職員、ご家族様、ホーム職員で開催しています。災害時の避難時の方法、場所等の情報を共有させて頂いております。	開設後1年余で3回開催しています。委員は自治会正副会長、民生委員、地域包括、行政担当、家族が参画しています。ホームの活動報告や意見、要望などの意見交換がなされています。有事の避難場所や地域の防災組織への参加などがホームの反映した事例です。	会議には時々地域から消防署や交番、幼稚園・保育園、小中学校、老人会、婦人会などの参画を求め会議の活性化を図ると共に地域との交流拡大と、高齢者施設としての情報発信も期待されます。
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	書類作成時には直接海老名市役所へ出向き、ホームの状況を説明させて頂いています。海老名市介護保険事業所連絡協議会の参加により市町村との連携が強化されました。	行政の窓口には管理者が主にホームの状況報告など情報交換をしています。市内介護保険事業所連絡会には積極的に参加し、管理者研修、グループホーム同士の情報交換が行われています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	門扉を開放しておりますので、玄関は施錠しております。入居者様が玄関に行かれた時は、外に出られる安心感を持って頂けるように、声掛けをして外周の散歩等をしています。1Fと2Fは行き来できる時にフロアの出入り口の施錠はしていません。	身体拘束の弊害については、研修会などで職員に徹底しています。特に言葉の使い方は日常の実践の場で、事例について管理者を中心に指導、啓蒙を図り拘束のない支援に努めています。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待だけでなく、スピーチロック等の声掛けによる虐待もある事を伝えていきます。 職員間でも、他職員の声かけを聞きながらお互いに確認し合う気持ちで取り組んでいます。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が成年後見人と連絡を行い、制度については職員に伝えている。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時には、会社の理念やホーム運営の方針等を説明し、疑問を伺い回答をさせて頂いた上で納得頂いています。解約時にはご家族様と慎重に話し合いを重ねた上で行っています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「御意見箱」を設置しています。又、家族会や訪問時に頂いた意見は報告書を作成し、職員に周知し、統括本部へも報告を行い解決に努めています。	家族会は開設後2回開催されていて、それぞれの家族から要望、意見を聞く機会を作っています。室内の安全上の保護カバーの設置や緊急避難場所と緊急連絡方法の家族向けカードの作成などがホームの運営に反映した事例です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議、常勤会議を行いながら、「何でも話せる」環境ができる様に努めています。職員とホーム長の個人面談も実施しています。	常勤会議やユニットごとのスタッフ会議、随時実施している個人面談などで要望や意見を聞く機会を作っています。管理者はいつでも自由に意見、要望を言える雰囲気を作っています。	
12		<b>就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一人一人の評価を行なう中で個人の努力を把握しています。職員のやりがいに繋がる様に、パート職員の社員昇級も行っております。		
13		<b>職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	開所時には「服薬研修」「マナー研修」を行いました。法人内で行う研修においては力量を判断しながら研修参加を勧めています。法人外研修では研修の情報の収集に努めています。介護技術の向上においては、実践の中で一緒に取り組みながら伝えていく事を大切にしています。		
14		<b>同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	海老名市介護事業所連絡協議会に入会し、同業者との情報共有をしております。近隣のグループホームのお祭りにも参加させて頂き、職員同士の交流も出来ました。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居までの把握と実態調査時のご本人の意向、気持ちを踏まえた上で、ご本人に合った声かけ、気配りを大切にし、職員に不安を訴えていける関係作りができる様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話しやすい環境作りに努めています。面会時には、ホーム長やホーム職員と面談ができる様に努めており、電話対応時は色々な情報をお伝えすることで話しやすい環境作りをしています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント、カンファレンスでご本人の支援方法を見極め、必要なサービスの情報の提供を行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が大切にしている「ご本人の意向に添ったケア」の実施に努めています。ご本人に選択して頂くという気持ちを忘れず、声かけ等に配慮しています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	居室担当を決め、ご家族との情報の共有に努めています。毎月の一言通信では、一か月の情報をお伝えしながら、協力頂ける体制を作っています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人の訪問時は楽しく話せる環境を作り、居室やソファでゆっくりと過ごして頂いています。	在宅当時より新聞の購読、友人・知人との交流、手紙・電話などの継続支援をしています。墓参り、外泊、美容院なども家族の協力のもとに継続支援を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の日常家事の中で男性入居者様、女性入居者様を問わず声かけをして参加して頂いています。少しずつでも同じ事にに関わり合える様に支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族がホームに訪問されたり、お手紙を頂いたり交流を続けています。		

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の症状を把握しながら「どちらが良いですか？」との声かけを行い、選択できる環境を作る様に心がけています。選択が困難な方には職員間で検討しながら意向に添うように努めています。	一人ひとりの傾聴を重んじ、希望や思いを引き出し、最大限に尊重したケアに努めています。意思表示が困難な人は表情、仕草で把握したり家族の協力をもとに把握するようにしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実態調査の情報を職員間で共有していません。入居前に担当されていたケアマネジャーより電話や書式で生活歴やご家族の意向を伺っています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録の中に職員との会話や「喜怒哀楽」の様子を記入する様にしています。一日を通しての関わりを職員間で引き継ぎ、情報の共有を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者様、ご家族様の希望を聞きながら、医療関係者の意見を取り入れて3ヶ月毎のカンファレンス、6ヶ月毎のケアプランを作成しています。支援の方法等に変化があった時はその都度作成しています。</p>	<p>3カ月ごとに居室担当者を交えたカンファレンスを行い、6ヶ月に1回プランの見直しをしています。心身の状況によっては都度見直しをしています。家族の要望、意見は計画案の送付時に聞いてプランに反映するようにしています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランにナンバリングを行い、ケアプランに添った計画ができる様に努めています。生活記録のファイルに作成したケアプランの用紙を入れてあります。必要なサービスの確認を行える様にしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の意向、ご家族の同意を得ながら買い物を楽しんで頂いています。職員と喫茶店に行かれたり、ドライブにお誘いしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域でのお祭りやイベントに参加しています。ご家族も一緒に参加され楽しまれている様子をご覧になっています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を大切にしています。定期的な往診を受け、体調の変化等の相談をしながら指示を頂いています。専門的な受診が必要な時は家族の協力を頂き通院しています。</p>	<p>心療内科や歯科の往診は週1回実施しています。眼科や皮膚科は必要に応じて家族の協力のもとで行っています。状態の変化によっては都度対応しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問があります。体調や意向を報告しながらアドバイスを受けています。看記録を作成し職員間で情報を共有しています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを作成し情報交換しています。病院に出向き、担当者から情報を頂いています。退院に向けた話し合いには参加させて頂いています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の意向は日頃から伺っています。地域の方にもケアの看取り方針などを説明しながら納得して頂いております。	重度化については、主治医・家族と連携により対応しています。ホームでは開設後間もないですが既に数名の看取りを行なっています。今後においても要望があれば、医師、家族の連携のもとに慎重に受け入れることになっています。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	地域の消防署職員に来て頂き個人に合わせた避難方法を指導して頂いています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を頂きながら、ご入居者様の安全が守れるように訓練を行っています。避難場所については、広域避難場所が遠い為に近隣のコミュニティセンターに避難させて頂く事を自治会から了承頂きました。	夜間想定訓練は今後実施予定です。東北震災の教訓では停電に備え、ランタン、コンロなど備えています。備蓄では飲料水及び長期保存(2036年まで)のシチューやクラッカーなどを確保して有ります。地域の防災訓練への参加は課題となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員の声かけで傷つかれていないか等を職員間で話し合っています。 特に排泄時の誘導時にはプライバシーに配慮しています。	プライバシーについては法人の研修で徹底しています。排泄時にはさり気ない声かけでトイレ誘導をしています。個人ファイルなどのプライバシーに関する資料は鍵のかかるところに保管しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お気持ちを職員に伝えて頂けるように関係作りに努めています。可能な限りご本人に決定して頂ける声かけを徹底しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員間の引き継ぎの中で、まず体調の変化や意向の確認をしています。ご本人に必要な支援を考えながら、ご本人の意向を優先した上で一日の添い方を考えています。個別支援も大切にしながら「楽しい」と思ってもらえる時間や落ち着ける時間を増やして行けるように努めています		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来る限り洋服を選んで頂いています。ご家族様の協力も頂きながら、お好きな色、柄の把握に努めています。更衣の中で「できる事」はやって頂きご自分なりのおしゃれが出来る様に支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に楽しく行う事を大切にしています。「できる事」を考えながら、盛り付け・食器洗い・食器拭きのお誘いをしています。食器拭きは小さなカゴを用意して、安全に配慮しています。楽しみとして、又ご自分の役割として参加されています。	入居者は盛り付けや配膳、食器洗いなどそれぞれ役割を決め、楽しみながらお手伝いをしています。時にはおにぎりなどを作ったり食事のスタイルを変え楽しむ工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量をチェック表に記入し、職員間で情報共有をしています。食事の時は職員が添いながら嚥下の状態の把握に努めています。口腔ケアは毎食後、行っております。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る部分は本人にやって頂き、仕上げは介助の必要ない方も職員が確認を行っております。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を記入して排泄パターンの把握に努めています。定時の声掛けも行っており、トイレへの誘導も行っております。	排泄パターンは入居2週間～1ヶ月で把握しています。排泄の困難な人は副食を工夫したり、医療との連携で解決を図っています。入居後おむつの使用の方も大幅に改善した人もいます。	
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、体操を行っております。「飲むヨーグルト」を飲んで頂いたり、水分摂取量を把握しながら自然な排便が出来る様に支援しております。便秘の状況は引き継ぎの職員間で周知しています。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日、お風呂を用意しています。お好きな時に入れる様な環境作りに努めています。入浴時には声かけをして希望の時間帯を開いています。	希望があれば毎日でも入浴ができます。入浴剤や菖蒲湯、ゆず湯、オレンジの皮などで入浴を楽しむ機会を作っています。入浴を拒否する人にはフロアを変えた浴槽に案内したり、声のかけ方を工夫などして入浴が出来るように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室内の環境（換気・温度・照明）がご本人にとって心地よくなる様に確認しています。居室に戻られてもプライバシーを守りながら居室内を確認させて頂いています。		
47		<b>服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に服薬の処方方を先生に往診医に説明して頂いています。薬剤師からも目的、副作用等についての説明を受け、職員間で周知しています。		
48		<b>役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	台所に立つ事で役割を感じている方、菜園や外の様子を確認される事で役割を持たれている方がいらっしゃいますので楽しみに結びつく様に支援しています。		
49	18	<b>日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の意向を伺いながら散歩や買い物に出掛けられる支援をしています。「散歩表」を作成し外出頻度の把握をしています。家族と外食やドライブを楽しまれております。	毎日コンビニや神社などに出かける（車椅子の人も）ようにしています。コーヒーとトーストなどの外食に出かけることもあります。外出が特定の人に偏らないように「散歩表」作って皆が平等に外出できる機会を作っています。	
50		<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物には一緒に付き添います。レジでお金を支払い、おつりをもらう事を大切に、お金に対する感覚が残る様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望がある時は電話を繋いでいます。家族からも電話を頂き、会話を楽しまれております。年賀状に一言記入して頂き、ご家族に送っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	外出やレクリエーションの写真を掲示し日常生活観を感じて頂いています。季節を感じられる物を用意しています（花、正月飾り、ひな人形など）	食堂兼リビングはゆったりと明るく、廊下も広く居心地の良い空間となっています。リビングから1階はウッドデッキ、2階はベランダへといつでも外気に触れることが出来ます。廊下の一角にはソファとテレビがありくつろぐことができます。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファとテレビを用意し会話を楽しみながら過ごして頂いております。ウッドデッキでゆっくりと外気浴をし安らいで頂いています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンス、椅子、テーブル仏壇、写真などを置く事で安心できる空間になっています。症状の変化を把握しながら、環境を確認しています。	全ての居室が南向きに設計された明るい空間となっています。ベッドやクローゼットは備えてあり他は持ち込み自由となっています。馴染みの家具、調度品を持ち込み以前と変わらぬ生活を送っている入居者もいます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレがわからない方の為に場所を書いた紙を貼っています。記入方法は「トイレ」「便所」等、その方に伺いながら記入しています。その方の目線に合わせて貼る様にしています。		

事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘
ユニット名	2階

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念は玄関に掲示しており「大きな幸せ」の実現に向け取り組んでいます。事業所としては開所時より「地域と共に」「利用者本意の介護」を目指し、日々の実践に取り入れるよう努めています。		
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しています。回覧板を頂く事で、地域行事や催し物の情報がわかります。地域のお祭りや、敬老会への参加をしています。		
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で認知症の日頃の症状を説明させて頂くと共に見学に来られた地域の民生委員の方々も直接入居者様と談話をして頂きながら理解を頂いています。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会の役員、民生委員、市役所高齢介護課、地域包括支援センター職員、ご家族様、ホーム職員で開催しています。災害時の避難時の方法、場所等の情報を共有させて頂いております。		
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	書類作成時には直接海老名市役所へ出向き、ホームの状況を説明させて頂いています。海老名市介護保険事業所連絡協議会の参加により市町村との連携が強化されました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	門扉を開放しておりますので、玄関は施錠しております。入居者様が玄関に行かれた時は、外に出られる安心感を持って頂けるように、声掛けをして外周の散歩等をしています。1Fと2Fは行き来できる時にフロアの出入り口の施錠はしていません。		
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待だけでなく、スピーチロック等の声掛けによる虐待もある事を伝えていきます。 職員間でも、他職員の声かけを聞きながらお互いに確認し合う気持ちで取り組んでいます。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が成年後見人と連絡を行い、制度については伝えている。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時には、会社の理念やホーム運営の方針等を説明し、疑問を伺い回答をさせて頂いた上で納得頂いています。解約時にはご家族様と慎重に話し合いを重ねた上で行っています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「御意見箱」を設置しています。又、家族会や訪問時に頂いた意見は報告書を作成し、職員に周知し、統括本部へも報告を行い解決に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議、常勤会議を行いながら、「何でも話せる」環境ができる様に努めています。職員とホーム長の個人面談も実施しています。		
12		<b>就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一人一人の評価を行なう中で個人の努力を把握しています。職員のやりがいに繋がる様に、パート職員の社員昇級も行っております。		
13		<b>職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の情報の収集に努めています。介護技術の向上においては、実践の中で一緒に取り組みながら伝えていく事を大切にしています。		
14		<b>同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	海老名市介護事業所連絡協議会に入会し、同業者との情報共有をしております。近隣のグループホームのお祭りにも参加させて頂き、職員同士の交流も出来ました。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居までの把握と実態調査時のご本人の意向、気持ちを踏まえた上で、ご本人に合った声かけ、気配りを大切にし、職員に不安を訴えていける関係作りができる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話しやすい環境作りに努めています。面会時には、ホーム長やホーム職員と面談ができる様に努めており、電話対応時は色々な情報をお伝えすることで話しやすい環境作りをしております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント、カンファレンスでご本人の支援方法を見極め、必要なサービスの情報の提供を行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が大切にしている「ご本人の意向に添ったケア」の実施に努めています。ご本人に選択して頂くという気持ちを忘れず、声かけ等に配慮しています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	居室担当を決め、ご家族との情報の共有に努めています。毎月の一言通信では、一か月の情報をお伝えしながら、協力頂ける体制を作っています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人の訪問時は楽しく話せる環境を作り、居室やソファでゆっくりと過ごして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の日常家事の中で男性入居者様、女性入居者様を問わず声かけをして参加して頂いています。少しずつでも同じ事にに関わり合える様に支援しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族がホームに訪問されたり、お手紙を頂いたり交流を続けています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の症状を把握しながら「どちらが良いですか？」との声かけを行い、選択できる環境を作る様に心がけています。選択が困難な方には職員間で検討しながら意向に添うように努めています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実態調査の情報を職員間で共有していません。入居前に担当されていたケアマネジャーより電話や書式で生活歴やご家族の意向を伺っています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録の中に職員との会話や「喜怒哀楽」の様子を記入する様にしています。一日を通しての関わりを職員間で引き継ぎ、情報の共有を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者様、ご家族様の希望を聞きながら、医療関係者の意見を取れ入れて3ヶ月毎のカンファレンス、6ヶ月毎のケアプランを作成しています。支援の方法等に変化があった時はその都度作成しています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランにナンバリングを行い、ケアプランに添った計画ができる様に努めています。生活記録のファイルに作成したケアプランの用紙を入れています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の意向、ご家族の同意を得ながら買い物を楽しんで頂いています。職員と喫茶店に行かれたり、ドライブにお誘いしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域でのお祭りやイベントに参加しています。ご家族も一緒に参加され楽しまれている様子をご覧になっています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を大切にしています。定期的な往診を受け、体調の変化等の相談をしながら指示を頂いています。専門的な受診が必要な時は家族の協力を頂き通院しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問があります。体調や意向を報告しながらアドバイスを受けています。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを作成し情報交換しています。病院に出向き、担当者から情報を頂いています。退院に向けた話し合いには参加させて頂いています。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	平成23年に2名の看取り介護を実施させて頂きました。ご家族や運営推進会議でも看取り介護の経過報告をさせて頂きながら地域の方の助言や意見を伺いながら実施しました。		
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	地域の消防署職員に来て頂き個人に合わせた避難方法を指導して頂いています。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を頂きながら、ご入居者様の安全が守れるように訓練を行っています。避難場所については、広域避難場所が遠い為に近隣のコミュニティセンターに避難させて頂く事を自治会から了承して頂きました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員の声かけで傷つかれていないか等を職員間で話し合っています。 特に排泄時の誘導時にはプライバシーに配慮しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お気持ちを職員に伝えて頂けるように関係作りに努めています。可能な限りご本人に決定して頂ける声かけを徹底しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員間の引き継ぎの中で、まず体調の変化や意向の確認をしています。ご本人に必要な支援を考えながら、ご本人の意向を優先した上で一日の添い方を考えています。個別支援も大切にしながら「楽しい」と思ってもらえる時間や落ち着ける時間を増やして行けるように努めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来る限り洋服を選んで頂いています。ご家族様の協力も頂きながら、お好きな色、柄の把握に努めています。更衣の中で「できる事」はやって頂きご自分なりのおしゃれが出来る様に支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に楽しく行う事を大切にしています。「できる事」を考えながら、盛り付け・食器洗い・食器拭きのお誘いをしています。食器拭きは小さなカゴを用意して、安全に配慮しています。楽しみとして、又ご自分の役割として参加されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量をチェック表に記入し、職員間で情報共有をしています。食事の時は職員が添いながら嚥下の状態の把握に努めています。口腔ケアは毎食後、行っております。		
42		<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る部分は本人にやって頂き、仕上げは介助の必要ない方も職員が確認を行っています。		
43	16	<b>排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を記入して排泄パターンの把握に努めています。定時の声掛けも行っており、トイレへの誘導も行っております。		
44		<b>便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、体操を行っております。「飲むヨーグルト」を飲んで頂いたり、水分摂取量を把握しながら自然な排便が出来る様に支援しております。便秘の状況は引き継ぎの職員間で周知しています。		
45	17	<b>入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日、お風呂を用意しています。好きな時に入れる様な環境作りに努めています。入浴時には声かけをして希望の時間帯を開いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室内の環境（換気・温度・照明）がご本人にとって心地よくなる様に確認しています。居室に戻られてもプライバシーを守りながら居室内を確認させて頂いています。		
47		<b>服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に服薬の処方方を先生に往診医に説明して頂いています。薬剤師からも目的、副作用等については説明を受け、職員間で周知しています。		
48		<b>役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の意向を伺いながら散歩や買い物に出かけられる支援をしています。「散歩表」を作成し、外出の頻度の把握をしています。ご家族と外食やドライブを楽しまれております。		
49	18	<b>日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の意向を伺いながら散歩や買い物に出かけられる支援をしています。「散歩表」を作成し外出頻度の把握をしています。家族と外食やドライブを楽しまれております。		
50		<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物には一緒に付き添います。レジでお金を支払い、おつりももらう事を大切に、お金に対する感覚が残る様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望がある時は電話を繋いでいます。家族からも電話を頂き、会話を楽しまれております。年賀状に一言記入して頂き、ご家族に送っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	外出やレクリエーションの写真を掲示し日常生活観を感じて頂いています。季節を感じられる物を用意しています（花、正月飾り、ひな人形など）		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファとテレビを用意し会話を楽しみながら過ごして頂いております。ウッドデッキでゆっくりと外気浴をし安らいで頂いています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンス、椅子、テーブル仏壇、写真などを置く事で安心できる空間になっています。症状の変化を把握しながら、環境を確認しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレがわからない方の為に場所を書いた紙を貼っています。記入方法は「トイレ」「便所」等、その方に伺いながら記入しています。その方の目線に合わせて貼る様にしています。		

## 目標達成計画

作成日：平成 24 年 4 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み 地域との交流の拡大、会議の活性化の取り組みの実施が課題である。	運営推進会議の定期開催を実施しながら地域交流拡大に繋がる様にする。	オーナー様、市役所、現在の委員の方のご協力を頂きながら、学校、消防署、交番等の地域との交流を深めていく。	12ヶ月
2	13	災害対策 今後の訓練では夜間訓練等の実施されていない訓練を行っていく。	色々な場面での訓練を行なうことで職員の知識向上や対応の安定に結びつく。	消防署の指導の下、今まで行っていない訓練を行っていくと共に、ホーム内での独自の訓練も取れ入れていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。